



すげかり通信



学年毎に【言葉】について考える時間を作りました

新しい年度になり、筆箱や掲示物に嫌な気持ちになる言葉が書かれていることがあったこと、普段生活する中で嫌な気持ちになる言葉をよく耳にすることから、『クラブにいるみんなが楽しく過ごせるように』この時間を設けました。

各学年、別室に集まり、①自分が言われて嫌な言葉や、自分が言ってしまい誰かを傷つけてしまった言葉（ちくちく言葉）を書き出しました。その後、②その言葉はどういう時、どういう気持ちの時に言ってしまったのか、③イライラモヤモヤした時の気持ちの発散方法、④言われて嬉しい、嫌な気持ちにならない言葉（ふわふわ言葉）を考えました。①②はどの学年も同じような言葉が挙がりました。③では、『ダンボールをなぐる』『他のお友達と遊ぶ』など、各学年や個人の成長過程によって様々な方法が挙げられました。④では、今までの経験を振り返り「ありがとう」「すごいね」など自分が言われて嬉しい言葉やお友達に言ってあげたい言葉が挙がりました。

様々な気持ちの発散方法の中で自分ならどれができそうかを考えてもらい、「これならできそう」という方法を自分なりに考える姿がありました。嫌な言葉を言いたくなったり書きたくなったりしたら『我慢して先生に言う』という声も上がり、一人ひとりがちくちく言葉で相手を傷つけないようにどう行動すべきかを考えました。また、クラブ内には落ち着きルームというこども2人程が入れる小さなお部屋があり、『入って気持ちを落ち着かせる』という意見や、3年生以上になるとちくちく言葉ではなく『言い換えをして相手に気持ちを伝える』という意見も出ました。「黙れ」→「静かにして」など、自分の思いは伝えつつ、相手が嫌な気持ちにならない言い方に変えていけるような心がけも大切だと再認識したこども達です。



今回、学年毎に考えた言葉についてのまとめをクラブの玄関に掲示しています。クラブに足を運ぶ機会がありましたらぜひご覧いただき、保護者の皆さまとも一緒に言葉について考えていけたらと思います。そして、こども達にはクラブだけでなくお家でも【ちくちく言葉】【ふわふわ言葉】を意識して過ごしてもらえたらと思っています。

“すげかり通信”は、毎月のおたよりとは別にイベントの前後やクラブでの大事な取り組みの際など、特別にお伝えしたい!という時に発行しています。ぜひお子さんと一緒にみていただけますと幸いです。